

「紙パック回収強化月間」を実施しました

森永乳業グループでは、全国牛乳容器環境協議会（容環協）」の会員として、日頃より紙パック回収ボックスを事業所に設置するなど、紙パクリサイクルの取り組みに力を入れています。このたび、6月の「牛乳月間」「環境月間」にちなんで、森永乳業グループの一部の事業所と本社が所在する港区の住民の方々を対象に、「紙パック回収強化月間」を実施しました。

① 「みなと環境にやさしい事業者会議」との連携による紙パック回収

森永乳業グループの本社がある港区の「みなと環境にやさしい事業者会議」と協働・連携し、6月8日（木）「港地区クリーンキャンペーン」と、6月15日（水）「100万人のキャンドルナイト@増上寺」にて、1リットル紙パック5枚と交換でオリジナルティッシュボックスがもらえるキャンペーンを実施しました。

港区にお住まいの方をはじめ、多くの方にご参加いただき、合計430枚の紙パックを回収しました。

キャンペーンにご協力いただいた自治会の方からは、「取り組みに共感をしたので、自治会メンバーで集めてもってきた」「家に眠っていた紙パックがリサイクルにつなげることができ嬉しい」といった声も伺えました。ほかにも、子どもたちが紙パックを持参した際には、紙パックの作り方やリサイクルについてお伝えする場面もあり、リサイクルへの意識啓発にもつながることができました。



港区クリーンキャンペーンの様子



100万人のキャンドルナイト@増上寺の様子

② 事業所における紙パック回収

森永乳業グループの各事業所では紙パック回収ボックスを設置し、日ごろから紙パクリサイクルに力を入れています。

今年度は初めての試みとして、6月の1か月間、都内にある複数の事業所および研究・情報センターにて、1リットルの紙パック5枚と交換でオリジナルティッシュボックスがもらえるキャンペーンを実施しました。

その結果、12事業所で合計4,200枚の紙パックを回収しました。

かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

〒108-8384 東京都港区芝5-33-1



牛乳パック回収ボックスにいれる森永乳業グループの社員



オリジナルティッシュボックス

森永乳業グループの事業所、および、「みなと環境にやさしい事業者会議」でのイベントで回収した紙パックは、古紙リサイクル工場に送られ、ティッシュペーパーやトイレtpペーパーなどに生まれ変わります。

森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、今年度よりサステナビリティ中長期計画2030を推進しています。「食と健康」「資源と環境」「人と社会」という3つのテーマを軸に活動を行い、7つのマテリアリティ（重要取組課題）を通じてサステナビリティビジョンの実現を目指します。また、森永乳業グループ環境方針において、限りある資源の有効活用のため、3R（削減、再使用、再生利用）を推進しており、今回のキャンペーンでは、身近な紙パックリサイクルを通じた意識啓蒙と、地域とのコミュニケーション強化に取り組みました。